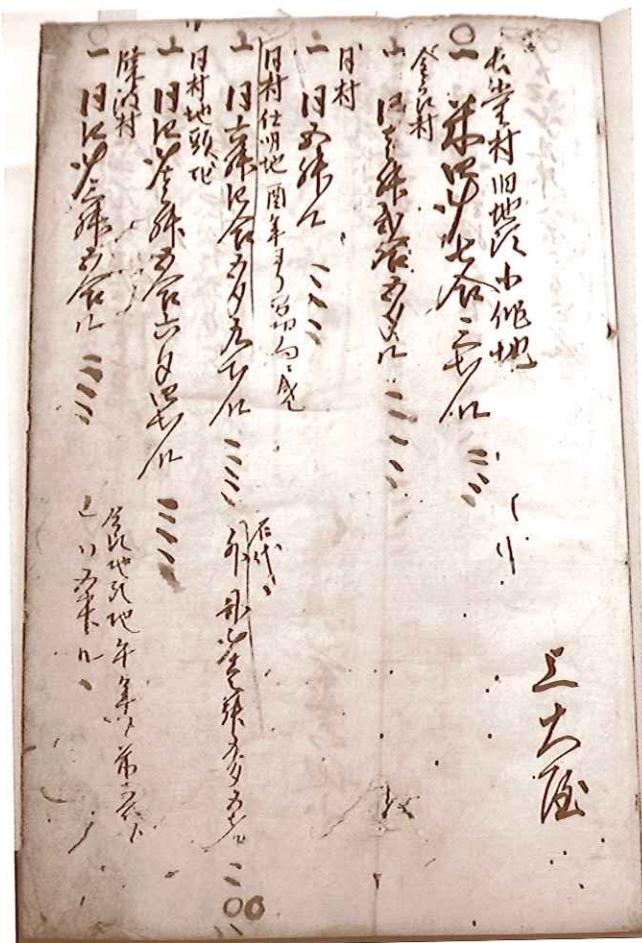


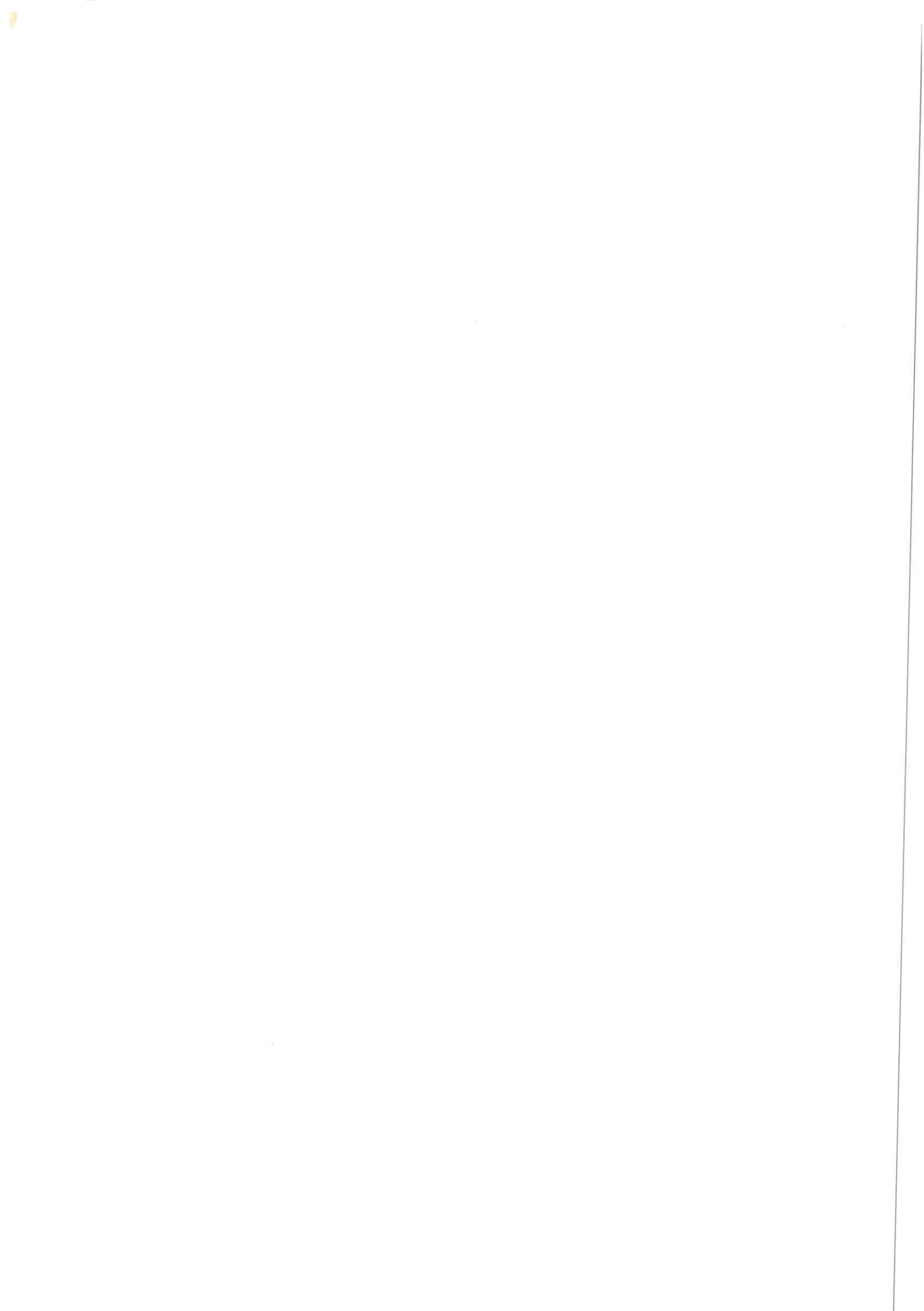
豊見城市示史 だより

第 9 号



2006

豊見城市教育委員会 文化課



「他村へ仕明地・旧地頭地・百姓地叶掛地貢租収入帳 嘉数村」の若干の分析と解説

嘉数村 平良 勝保

平良 勝保

はじめに

「他村へ仕明地・旧地頭地・百姓地叶掛地貢租収入帳 嘉数村」（以下、本史料という）は、琉球大学附属図書館の原忠順文庫に原本がある。原忠順文庫の解説は、本史料を次のように解説している。

豊見城間切・嘉数村の住人（地人）が、近隣の長堂村・金良村・饒波村などの仕明地（開墾地）や小作に出された地頭地（士族の役地）などからの収入を記した帳簿。上大屋、前真地小、新平田、仲前大屋、比嘉小などのように屋号で呼ばれる単位をひとまとまりとして、寅年から申年までの七年間の収入（一部は他村への支払い）が墨書きと朱書きで書き分かれている。そのため複雑な記載となつていて、王国末期から明治初期にかけての沖縄本島における村の経営の一部を知る上で、興味深い内容を持つ稀な帳簿である。

屋号と貢租額、貢租地、記号からなる難解な史料であるが、若干の知見を加えて簡単に解説しておく。

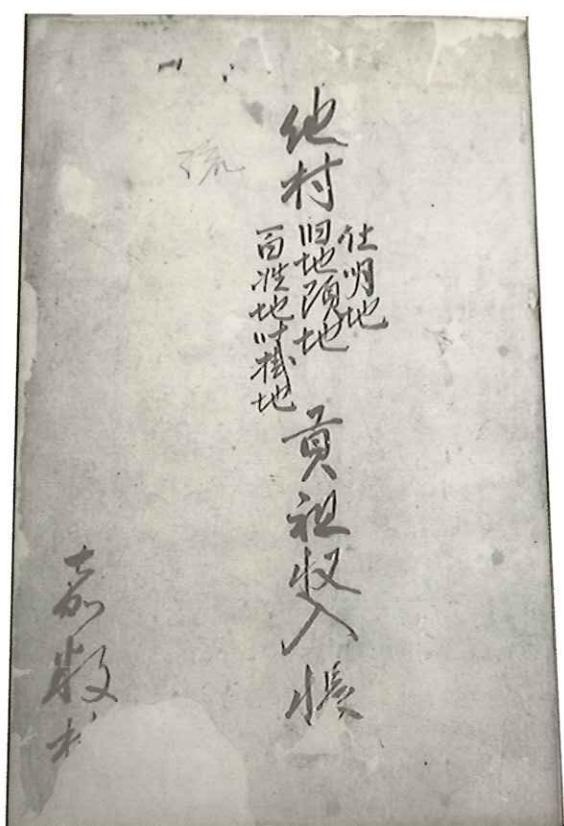
記載情報の断片的検討

表題に注目してみたい。表題は「他村仕明地旧地頭地百姓地叶掛地貢租収入帳」と記されている。表題から考へると、嘉数村に戸口のある者（屋号）で、他村管轄の土地を小作している者から、貢租を徴収するために作成された史料と考えられる。貢租は、小作料と同じであるか、よくわからない。もし、貢租が小作料を含むとすれば、実際の貢租は、他村が小作料を差し引いてから納めていたのであろう。表題には仕明地・地頭地・百姓地が記されているが、本史料には、捷地も多く見られる。捷地は、広くは地頭地に含まれる概念であろうか。

成立年（時代）

原忠順文庫の書誌情報には、「原本1冊。32丁。26・2×17・9cm。/編著者不明/時代不明（明治初期頃か）」と記されている。本史料を子細に見ていくと、成立年（時代）を特定できる情報が含まれている。No.38とNo.56に「明治三十二年亥年より」という記述がある。また、屋号ごとの末尾に「寅卯辰巳午未申」の支が記されている。これから推しはかるに一八九〇（明治二十三、寅）年から一八九九（明治三二）年まで使用されたものといえる。しかし、ほとんどは、寅年（一八九〇年）から酉年（一八九七年）の情報であると思われる。史料No.1の「上大屋」の貢租合計は、酉年の合計となっている。

一八九九年（明治三二）には、沖縄県土地整理法が施行され、土地整理が始まる。土地整理の開始とともに、本史料は役目を終えたのであろう。



「他村仕明地旧地頭地百姓地叶掛地貢租収入帳」表紙

No.1の上大屋の耕地をもとに若干の分析をしてみる。上大屋は、嘉数村にある屋号であろう。上大屋は、「長堂村旧地頭地小作地」「金良村【百姓地か?】」「同(金良)村【百姓地か?】」「同(金良)村仕明地」「同(金良)村地頭地」「饒波村【百姓地か?】」を小作しており、寅年から巳年までは、六筆である。午年から、金良村地頭地が加わり七筆となる。午年までは、1・3・8・4・7・6石の貢租で、未年は1・4・3・4・7・6石、酉年からは1・3・7・0・1・7石となつている。「石代外武斗壹升九勺五才起」は、計算の対象になつてないが、理由はよくわからない。耕地が特定されていないことが、特徴となつてていることはわかるが、なぜ記載がされているのか、今後の検討課題といえる。

一筆目の「長堂村旧地頭地小作地」は、米四斗七合三才起が貢租となつている。この額が小作料を含まず純然たる貢租だけと仮定し旧地頭地なので上田とすると、 $0.40703 \times (1.6300) = 76.318$ 坪の面積となる⁽¹⁾。

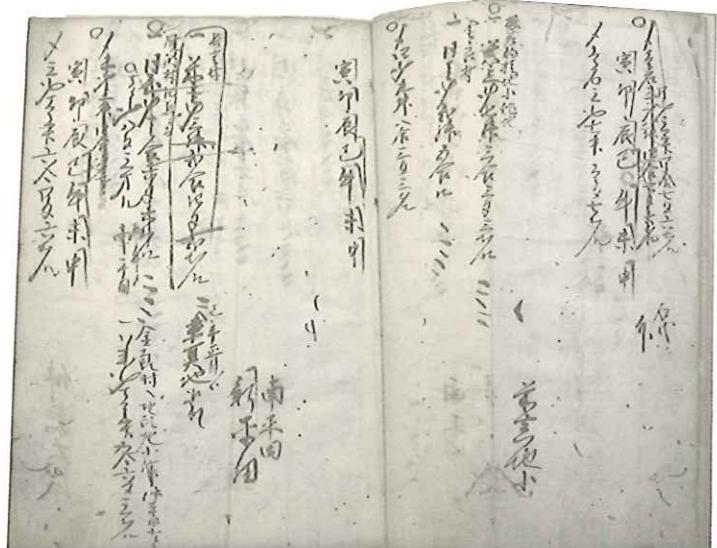
「小作地」という用語を使つてゐることが注目される。本史料が成立したNo.8やNo.10には、那覇・首里の士族に転貸してゐるケースが見られる。これらは、浮掛地である。豊見城の浮掛け問題は、一八九八(明治三二)に裁判沙汰まで発展するが、本史料はその背景をかいしま見ることができる。全体として、嘉数村の多くの家が他村の小作地を抱えており、土地整理以前にすでに耕地の変動が大きくなつたことを示してゐるといえる。

浮掛け地

近世琉球の永小作地の一種。百姓地のうち、地割の対象外で小作に供されている土地をさす。これらの土地の多くは、屋取集落の居住人層によつて耕作されたと考へられる。一八九五年(明治二八)の県の調査によると、沖縄本島では百姓地の十分の一は浮掛け地であった。(『田里修』)

『沖縄大百科事典』

- (1) 『豊見城村史』第九卷文献資料編、四一六頁参照。
(2) 宮川登『旧民法と明治民法』(一九六五年、青木書店)、三四頁参照。



史料には屋号だけでなく、原名など当時の地名も記されている

1 翻刻に際しては、以下の点に留意して行つた。

2 翻刻の様式は、行数・字数ともに市史だよりの字数にあわせて加工した。

3 判読不明の字は□としたが、ある程度予測可能な箇所は□の右傍に(○○カ)と付した。
4 原文中の朱筆はゴシック体、朱の記号は○▼、朱線は破線-----で示した。

5 変体仮名「江(へ)」「而(て)」は「江」「而」とし、他の字よりも小さくした。その他は仮名に直した。また、略字のうち「ベ(しめ)」はそのまま残し、他は仮名および正字に直した。

表紙

他村仕明地
百姓地頭地
百姓地叶掛地
貢租收入帳

嘉数村

南平田
新平田
巳年正月より
東真地小江成ル

No.
1

上大屋

○ 壬斗八勺三才起
○ 三斗三升四合八才起

西年より
南平田

長堂村旧地頭地小作地	○	金良村
一米四斗七合三才起	、	、
同壹升弐合五勺起	、	、
同五升起	、	、
同村	▼	▼
同村仕明地酉年ヨリ間切向ニ成ル	一	
石代		O

石代
外式斗壳升九勺五才起

首里大屋子地小作地
○一米壳合起 、、、、
根差部捉地右同
○一同三斗四升六合三勺三才起
同人、右同 、、、、
○一司三升起 、、、、

仲前大屋

No.
4

○一 同三斗四升六合三勺三
○二 同人 右同
○三 升起

○ 饒波村江仕明地公義上納 西年ヨリ間切向
一 同三升九合三才起

同村右同、久米村六男国場里之子親雲上酉年公儀より
○一同壱升六合七勺三才起

平良村八
同三斗起

申年饒波村二成ル

四斗三升三合九才起

寅卯辰巳午未申

○根差部捷地小作地

前真地小

長嶺捷地小作地

○一 米八升六合壺勺壺才起 、＼＼＼＼＼

首里大屋子地小作地

○一 同三斗式升七合七勺七才起 、＼＼＼＼＼

右同

○一 同武斗五升起 、＼＼＼＼＼

右同

○一 同六升式合□勺起 、＼＼＼＼＼

右同

○一 同三升五合起 、＼＼＼＼＼

右同

○一 同壺斗起 、＼＼＼＼＼

右同

○一 長堂村^{仕明公義上納田方高武斗四升五勺}金良村江仕明公義上納真和志村玉寄筑登之親雲上面付

○一 同壺斗四升八合八勺四才起 、＼＼＼＼＼

右同

▼一 同五升六勺七才起 、＼＼＼＼＼

右同

▼一 同五升三合□勺九才起 、＼＼＼＼＼

右同

▼一 同村^{右同東前ん田打組之原東前ん田打組原七升九合七勺九才起内}金良村江仕明公義上納真和志村玉寄筑登之親雲上面付

○一 同壺斗七合四勺四才起 、＼＼＼＼＼

右同

○一 同壺斗七合三才起 、＼＼＼＼＼

右同

重出米 同村江右同父代籠ル麦四升式合五才起之内ヨリ成ル
式斗代癸亥年より繰替

○一 四升式合六勺八才起 、＼＼＼＼＼

右同

○一 同凶升五合五才起 、＼＼＼＼＼

右同

重出米 同村江右同父代籠ル麦四升式合五才起之内ヨリ成ル
式斗代癸亥年より繰替

○一 同七合六勺壺才起 、＼＼＼＼＼

右同

○一 同八升三合六勺七才起 、＼＼＼＼＼

右同

○一 同四斗三升七合五勺起 、＼＼＼＼＼

右同

金良村仕明公義上納久米村次男我喜屋面付高五斗四合上納高三斗四升三勺八才起之内

▼一 同五升九合五勺四才起 、＼＼＼＼＼

石代

重出米 同武石三斗六升九合壺勺起 、＼＼＼＼＼

石代

当村帳内仕明

石代

▼一 米式升壺合六勺七才起 、＼＼＼＼＼

石代

当村帳内仕明

石代

▼一 壱石九斗九合五勺壺才式斗代 、＼＼＼＼＼

石代

○一 式石三斗七升三合七勺九才起 、＼＼＼＼＼

石代

▼一 米式升壺合六勺七才起 、＼＼＼＼＼

石代

○一 式石三斗七升三合七勺九才起 、＼＼＼＼＼

石代

○一 式石三斗七升三合七勺九才起 、＼＼＼＼＼

石代

▼一 壱石九斗九合五勺壺才式斗代 、＼＼＼＼＼

石代

No. 10 長堂村江仕明上納崎山村嫡子照屋筑登之親雲上女子思戸

東前ん田

面付麦六升四合五勺壺才式斗代 、＼＼＼＼＼

石代

○一 同壺升壺合八勺三才起 、＼＼＼＼＼

石代

○一 同三升四合八勺起 、＼＼＼＼＼

石代

○一 同三升四合八勺起 、＼＼＼＼＼

石代

○一 同武斗起 、＼＼＼＼＼

石代

○一 同壺斗 、＼＼＼＼＼

石代

▼一 同武升六合六勺起 、＼＼＼＼＼

石代

外八升六合八勺六才起 、＼＼＼＼＼

石代

同村江よなつん原畠叶 、＼＼＼＼＼

石代

同村江よなつん原畠叶 、＼＼＼＼＼

石代

一米戦斗三升起 、＼＼＼＼＼

内

前与那嶺
いり神谷
三斗壱升起
三升起

○ 壱石不斗王升不命九勺 戰才起
壱升

外

金良村旧地頭地叶免除割前之時割乞残り尾過として

村所茶 薪木補用として毎年村江
上納之事 浮叶米帳二立

寅 卯 辰 巳 午 未 申

○ 壱石王升小升五勺五才起
壱斗戦升五合四勺壱才起

No. 12

首里大屋子地小作地

○ 一米壱斗五升起 、＼＼＼＼＼

右同

○ 一同戦斗升七合五勺起 、＼＼＼＼＼

右同

○ 一同六升戦合五勺起 、＼＼＼＼＼

右同

*「、」は、「大屋」と重複。

は、「右同」に重複と考えた。

○ 一同四斗戦升三合五勺起 、＼＼＼＼＼

内

前与那嶺
いり神谷
三斗壱升起
三升起

○ 壱布九斗小升主命主勺壱才起
壱升

No. 13

長嶺掟地小作地たす原

首里大屋子地小作地

○ 一米 七升五合起 、＼＼＼＼＼

右同長嶺後原

○ 一同壱斗四升戦合起 、＼＼＼＼＼

根差部掟地叶

○ 一同六升戦合五勺起 、＼＼＼＼＼

金良村旧地頭地

▼ 一同三斗壱合七才起 、＼＼＼＼＼

根差部掟地叶

○ 一同戦斗六合七勺起 、＼＼＼＼＼

八斗小升七合戦合五勺七才起

○ 一同戦斗六合七勺起 、＼＼＼＼＼

八斗六升戦合五勺七才起

宇栄田

前仲門

前大屋

寅 卯 辰 巳 午 未 申

寅 卯 辰 巳 午 未 申

寅 卯 辰 巳 午 未 申

No. 14

根差部村江

根差部村江</

金良村江

外 長嶺後原午年より上大屋へ
内 五升

▼一 同武斗壱升起 壱斗六升起

○△武斗四升起

○△壱斗九升起 壱斗辰巳○午未申

No. 16

首里大屋子地小作地

○一 米八斗七升五合起

本主前大屋

金良村旧地頭公儀向

本主前大屋

▼一 同武斗五升起

本主前大屋

同村江右同東□□小

本主前大屋

▼一 同壱斗六升起

本主前大屋

同村江右同小作地長嶺後原

本主前大屋

▼一 同三斗三升武合八勺武才起

本主前大屋

同村江旧地頭地小作地長嶺後原前大屋小打組

本主前大屋

▼一 同武斗三升武合七勺八才起

本主前大屋

○△壱石八斗五升六勺起

本主前大屋

寅卯辰巳○午未申

八升式合起

○一 米武斗九升武合起

本主前大屋

外 壱升起

前大屋小江

仲門

○△寅卯辰巳○午未申

No. 19

長嶺捉地小作地

根差部捉地小作地

金良村江旧地頭地小作地

平田

○△寅卯辰巳○午未申

申年ヨリ饒波村前あしやけニ成ル

仲比嘉

No. 28

根差部捷地

饒波地頭地赤田原仲比嘉より

○一同米壱斗五升起 丶丶丶丶丶

○一同米壱斗武升壱合八勺八才起 丶丶丶丶丶

○一同八升三合壱勺三才起

○長堂村江
一同五斗四升起 丶丶丶丶丶

○七斗壱升壱勺六才 丶丶丶丶丶

○七斗壱升壱勺六才起

○四斗七升壱合壱勺武才

○金良村
一同壱斗八升九合四勺七才起 丶丶

○六斗主升主命壱勺九才起 丶丶

○六斗主升主命壱勺武才起

○未申

○同村江
一同壱斗八升九合四勺七才起 丶丶

○午七斗主升四命壱勺武才起 丶丶

○未申

○寅年より与那嶺ニ成ル

○八升九合七合八勺壱才起 丶丶

○寅卯辰巳午未申

No. 29

根差部捷地叶

○一同米三斗三升三合三勺四才起 丶丶丶丶丶

○一同七升壱合式勺九才起 丶丶丶丶丶

○一同米武斗四升三合七勺五才起 丶丶丶丶丶

○一同米武斗四升三合七勺九才起 丶丶丶丶丶

○同人江
一同七合五勺起 丶丶丶丶丶

○一同米三升五合起 丶丶丶丶丶

○一同米三升五合起 丶丶丶丶丶

○同人江
一同壱升五合起 丶丶丶丶丶

○一同全壱斗武升八合五才起 丶丶丶丶丶

○一同全壱斗武升八合五才起 丶丶丶丶丶

屋小ノ前原金良村旧地頭地前平田より成ル

屋小ノ前原金良村旧地頭地前平田より成ル

○金良村江
一同壱斗武升五合起 丶丶丶丶丶○金良村江
一同壱斗武升五合起 丶丶丶丶丶高嶺村江
一同四斗三升五合起 丶丶丶丶丶高嶺村江
一同四斗三升五合起 丶丶丶丶丶

○九斗壱升五合主命四勺才起 丶丶丶丶丶

○九斗壱升五合主命四勺才起 丶丶丶丶丶

○九斗壱升五合主命四勺才起 丶丶丶丶丶

○寅卯辰巳午未申

○寅卯辰巳午未申

No. 30

東前大屋小
未年新平田より饒波村東前大屋小
未年新平田より饒波村○長堂村
一同米三斗五升起 丶丶丶丶丶○長堂村
一同米三斗五升起 丶丶丶丶丶○長堂村
一同米三斗五升起 丶丶丶丶丶○同村江
七升八合式勺八才起 丶丶丶丶丶○同村江
七升八合式勺八才起 丶丶丶丶丶○同村江
七升八合式勺八才起 丶丶丶丶丶

○一同求斗主升八合主命八才起 丶丶丶丶丶

○一同求斗主升八合主命八才起 丶丶丶丶丶

○一同求斗主升八合主命八才起 丶丶丶丶丶

前与那嶺

根差部捷地

根差部捷地

饒波地頭地赤田原仲比嘉より

○一同壱斗武升壱合八勺八才起 丶丶丶丶丶

○一同八升三合壱勺三才起

○一同八升三合壱勺三才起

○長堂村江
一同五斗四升三勺九才起 丶丶丶丶丶

○六斗六升八合主勺三勺九才起

○六斗六升八合主勺三勺九才起

○金良村
一同七升壱合式勺九才起 丶丶丶丶丶

○六斗木升九合主勺主才起

○六斗木升九合主勺主才起

○同村江
一同七升壱合式勺九才起 丶丶丶丶丶

○六斗木升九合主勺主才起

○六斗木升九合主勺主才起

○同平田
一同七升壱合式勺九才起 丶丶丶丶丶

○六升九勺三才起 丶丶

○六升九勺三才起 丶丶

○金良村
一同七升壱合式勺九才起 丶丶丶丶丶

○六升九勺三才起 丶丶

○六升九勺三才起 丶丶

○同平田
一同七升壱合式勺九才起 丶丶丶丶丶

○六升九勺三才起 丶丶

○六升九勺三才起 丶丶

○金良村
一同七升壱合式勺九才起 丶丶丶丶丶

○六升九勺三才起 丶丶

○六升九勺三才起 丶丶

○同平田
一同七升壱合式勺九才起 丶丶丶丶丶

○六升九勺三才起 丶丶

○六升九勺三才起 丶丶

壹石八斗壹合六勺壹才起
寅 卯 辰 巳 午 未 申

壹布武斗武升壹斗武才起

No. 33

長堂村江

○一米武斗壹升壹斗武才起 、 、 、 、 、

外四升足上田二成ル

壹斗七升三合八勺六才
寅 卯 辰 巳 午 未 申

仲平田

No. 34

金良村江

▼一米三斗四升武合壹勺九才起 、 、 、 、 、

前東江 饒波村下宣保ノ二男三成ル

○一同壹斗三升武合四勺武才起 、 、 、 、 、

川田原叶高嶺村江

○前田原饒波村へ
一 同四升五勺起 、 、 、 、 、

饒波村下宣保ノ二男三成ル

○四斗七升四命木勺壹才起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

○五斗壹升五命壹勺壹才起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

○壹斗六升壹勺七才起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

根差部捷地年より東平田二成ル
一 同五斗七升起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

○壹斗六升壹勺八才起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

一米壹斗六升起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

同村江 高嶺村江
一 同三斗三升起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

木斗壹升壹勺七才起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

○壹布壹升八勺七才起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

四斗九升起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

No. 35

長堂村江

○一米武斗壹升壹斗武才起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

○壹斗六升壹勺七才起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

○壹斗七升四命木勺壹才起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

○壹斗八升五命壹勺壹才起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

○壹斗九升八勺六才起 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

但卯年ヨリニ二成ル消ル 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

但卯年ヨリニ二成ル消ル 、 、 、 、 、

金良村江 東仲里江

新屋

四斗七升四合六勺壹才起

金へ

重出米

一 同壹升九合三勺七才起 、 、 、 、 、

大屋

石川原

比嘉より成ル

辰年ヨリ首里大屋子地

○壹斗七升四命木勺壹才起 、 、 、 、 、

金良村江 同原右同右同

○壹斗八升五命壹勺壹才起 、 、 、 、 、

金良村江 同原右同右同

○壹斗九升八勺六才起 、 、 、 、 、

金良村江 同原右同右同

同村江 高嶺村江
一 同五斗七升起 、 、 、 、 、

金良村江 同原右同右同

木斗壹升壹勺七才起 、 、 、 、 、

金良村江 同原右同右同

○壹布壹升八勺七才起 、 、 、 、 、

金良村江 同原右同右同

寅 卯 辰

仲里

No. 36

長嶺捷地

○一米七斗四升武合起 、 、 、 、 、

首里大屋子地

○一同三合起 、 、 、 、 、

根差部捷地

○一同武升五合起 、 、 、 、 、

根差部捷地

○一同武斗四升四合五勺三才起 、 、 、 、 、

長嶺捷地

○一同壹斗武升五合起 、 、 、 、 、

長嶺捷地

○一同壹斗武升五合起 、 、 、 、 、

長嶺捷地

○一米七斗四升武合起 、 、 、 、 、

長嶺捷地

○一同三升四合六勺九才起 、 、 、 、 、

長嶺捷地

○一米七斗四升武合起 、 、 、 、 、

長嶺捷地

No. 37

長嶺捷地

首里大屋子地

根差部捷地

寅 卯 辰

仲里

▼一同八升六合五勺壺才起 、＼＼＼＼

No. 52

根差部捷地小作地 墓敷山野叶

○▼一米八升四合八勺起 、＼＼＼＼

長堂村旧地頭地小作地

○丁同斗七升四合六勺九才起 正 、＼＼＼＼

長堂村へ旧地頭小作地 申年より東仲里二成ル

丁米三斗四升王壼王勺六才起 、＼＼＼＼

金良村江右同

一同壺才起 、＼＼＼＼

同村江右同
十同壺升小壼王勺四才起 、＼＼＼＼ 寅年より与那嶺二成ル

饒波村江
一同三斗五合起 、＼＼＼＼ 申より二男いり神谷江

○メ五斗五升九合四勺九才起

メ壺右或斗或升木壼壺勺九才起

七合八勺五才起

寅 卯 辰 巳 ○午 未 申

- 14 -

いり神谷

長堂村江
一同壺斗七升五合起 饒江消し
寅 卯 辰 巳 ○午 未 申

No. 50

長嶺捷地叶 宇栄田二成ル消シ

首里大屋子地
一同六升式合五勺起

正 金良村江旧地頭地小作地

正 一同三升五合起

正 同村江旧地頭地小作地

正 一同壺斗式升八合五才起

正 一同六升式合五勺起

寅 卯 辰 巳 ○午 未 申

No. 51

首里大屋子地
一同三斗起 根差部村江

○一米壺升起 、＼＼＼＼

長堂村江前新屋敷□
十同五升九合五勺四才起 、

但寅年よりいり与那嶺并東表小二成ル

首里大屋子地
一同六升式合五勺起 、＼＼＼＼

右同
○一同壺斗式升五合起 、＼＼＼＼

卯年ヨリ平田小ニ成ル
○一同三斗起 根差部村江

メ壺斗九升四合五勺四才起 、＼＼＼＼

○壺斗主井五合起 ○四斗王井五合起 、＼＼＼＼

九升七合五勺起

未 申

No. 53

長堂村江旧地頭地いり神谷より成ル申年より

○一米三斗四升三合三勺六才起

十米四升五勺起 、＼前東江

金良村江後原畠叶仲里より成ル

○一米三斗四升三合三勺六才起

メ壺斗五升九合六才起

メ壺斗五升九合六才起

メ壺斗五升九合六才起

メ壺斗五升九合六才起

前上田

前宇栄甲

金良村江右同

同村江右同

十同壺升小壼王勺四才起

寅年より与那嶺二成ル

正 申より二男いり神谷江

正 一同三斗五合起

新屋小

東仲里

石川 □原畠叶根差部村へ

一 米八升三合式勺起 、 、 、

東たく原同村へ

一 同壱斗三升起 、 、 、

○ ピ武斗壱升三合式勺起

卯 辰 巳 ○ 午 未 申

辰 巳 ○ 午 未 申

同五斗七升起 、 、 、 前東利ニ成ル消ル

No. 55 高嶺村へ川田原

同五斗七升起 、 、 、 前東利ニ成ル消ル

No. 56 長堂村へ東表小ノ□

午 未 申

一 米壱斗八升三合式勺式才起

同村へ長嶺後原 子年よりいり与那嶺より入ル

一 全壱斗八升五合起

No. 57 饒波村へ長嶺後原

明治三十二年亥年より前大前□成ル

午 未 申

一 米三斗五合起

同村へ長嶺後原 子年よりいり与那嶺より入ル

一 全壱斗八升五合起

No. 58 饒波村へ長嶺後原

明治三十二年亥年より前大前□成ル

一 全武斗七合八勺壱才起

子年長堂原いり与那嶺より成ル

一 全武斗七合八勺壱才起

上真地

【補足】

本史料には、多くの原名（小字名）が出てくるが、ほとんどが現在では使用されていない原名である。これらのうち、原名に由来する名称と思われる井戸や拌所があるので、ここで紹介する。また、参考に現在の原名も付しておく。

（文化課嘱託 儀間淳一）

※（—）内は掲載頁

□□二男
蒲戸

（前東利カ）
蒲戸

よなつん原（四頁下段他）：現在の字饒波与那仁原のことと思われる。

前田原（四頁下段）：字嘉数前原にメーダガードという井戸があるが、この付

近のことか。

から堂原（五頁上段）：字嘉数東原のカラドーガードという井戸一帯のことと思われる。

屋小ノ前原（二〇頁上段）：字嘉数東原にヤーグワーヌメーと呼ばれる拌所があり、この一帯のことと思われる。長嶺グスクの火の神を祀っていると

いう。

字嘉数及び隣接する字の小字名

嘉 数

嘉數原

二男いり神谷

嘉 数

嘉數原

嘉 数

嘉數原

二男いり神谷

嘉 数

嘉數原

嘉 数

嘉數原

嘉 数

嘉數原

嘉 数

嘉數原

嘉 数

嘉數原

嘉 数

嘉數原

嘉 数

嘉數原

嘉 数

嘉數原

嘉 数

嘉數原

嘉 数

嘉數原

嘉 数

嘉數原

嘉 数

嘉數原

編集後記

今回掲載した「他村 仕明地・旧地頭地・百姓地叶掛地貢租収入帳」は琉球大学附属図書館原忠順文庫所蔵の史料です。本来なら『豊見城村史 第九巻 文献資料編』に収録されるべき史料ですが、諸事情により収録に至らず、『市史だより』で紹介することになりました。

このように『豊見城市史』発刊後も新たに発見された豊見城に関する史・資料は隨時紹介する予定ですので、引き続き情報のご提供をよろしくお願ひします。

最後に、本史料の複写および翻刻、掲載を許諾していただきました琉球大学附属図書館、そして史料の翻刻および解説の執筆をしていただきました平良勝保氏には心より感謝の意を表します。

豊見城市史だより 第9号

2006(平成18)年3月31日

編集・発行 豊見城市教育委員会 文化課
901-0232 豊見城市字伊良波392番地
Tel (098)856-3671
Fax (098)856-1215

印 刷 第一印刷株式会社

文化課スタッフ

課長 天久光宏	文化係
市史係 係長 平田すみえ	係長 与那嶺豊
嘱託 瑞慶覧峰子	主事 大城竜也
嘱託 儀間淳一	
委託 吳屋周子	
委託 赤嶺みゆき	

表紙題字：東陽

